

## 2025 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【英語】

今回は読解問題3題、対話文完成問題1題、語い・文法問題3題という大問構成となっています。

### 【1】 長文読解問題1 (エッセイ)

観光客がロンドンの地下鉄で列車を長時間待っていると、イギリス流のジョークに戸惑う様子が描かれています。主人公はアメリカ人観光客に冗談を言うものの通じず、最終的に地下鉄の遅延を文化として笑いに変えるという内容です。問2はいずれもキーワードとして入試に頻出の語です。問4の new には「慣れていない」という意味があることは重要です。問5は else の位置に注意しましょう。something else や nothing else など、語順の並べ替え問題として頻出です。問6の can't help -ing (せすにはいられない) は動名詞を使った重要構文です。問7はやや難易度は高いですが、文脈を把握して、「これもまた別のイギリス流の冗談ではないか」という内容になるはずだと推測して、「また別の」という another を入れられるかがポイントとなります。この問題が正解できた人は、読解力・推理力・語い運用力などに自信を持ってよいでしょう。

### 【2】 文読解問題2 (説明文)

エレベーターの歴史の初期の時代における諸エピソードを語ったものです。問1は to の後の省略を考える問題です。入試では省略はよく出題の対象になります。本問のような代不定詞には注意しておきましょう。問2は基本的な文法事項を基にした動詞の語形変化問題です。全問正解することを目指しましょう。問3は文脈を踏まえた上で、選択肢の熟語表現を知っているかが問われています。選択肢の中で知らない表現があれば、この機会に覚えておきましょう。問4のような問題では discourse marker [ディスコース・マーカー] (会話や文章の中で話の流れを整理したり、話者の意図や態度を示したりするための表現) に注意するとよいでしょう。本問では however がこれに当たります。他に、for example 「例えば」、in other words 「言い換えれば」、on the other hand 「他方では」などがあります。

### 【3】 長文読解問題3 (ノンフィクション)

サメに襲われそうになった青年の恐怖の体験を描いたノンフィクションです。問1の(1)は基本問題ですが、(6)・(8)は難問です。(6)・(8)が正解できた人は、かなりの英語力があると思われるので、自信を持ってよいでしょう。問3の形式目的語構文は入試必須事項です。【1】問8の選択肢イにある「**make it a rule to** →」の「→することを常とする」も同じ構文です。問5は空所の前後の内容を踏まえて、文脈上どのように展開しているか(時系列・因果関係・具体例・逆接など)を押さえた上で、該当する文を選びます。本問では、「～は驚くべきことだった」という内容から、実際はあり得ないようなことが起こっているという文脈を基に該当箇所を選ぶことになります。問6はまず、入り得る語の品詞から決めていくと解きやすくなります。知らない単語があれば、この機会に覚えておきましょう。

### 【4】 対話文完成問題

対話の流れを理解し、話がつながるように、その後の展開を予測しながら、選択肢から適切な文を選択します。2では、tipの意味が理解できているかがポイントになっています。

### 【5】 適語(句)選択問題

1, 2は時制や能動態・受動態などが理解できているかを問う問題です。3は簡単な表現を使っているように見えますが、実は重要な文法事項を含んでいます。解説を熟読して、正確に理解しておきましょう。

### 【6】 共通語問題

基本的な単語でありながら、文の中で使われると意味が取りにくくなるものがあります。1は(a)・(b)ともおなじみの表現だと思います。これは正解できないといけません。ただ、2・3(特に3)は難問です。このタイプの問題では、難易度の高い単語よりも基本的な単語が出題されやすいので、基本単語を使った例文にも注意しておくことが大切です。

### 【7】 連立完成問題

【6】と同様、基本単語を使った例文の中で押さえておくべき表現です。問題文の中には難易度の高い語も含まれているため、意味自体が理解できなかった場合は、その語も含めて覚えておきましょう。

## 2025 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【数学】

基礎的な計算問題や知識の問題から、それらの知識を応用する問題まで、各単元を網羅的に問う出題をしました。なんとなく理解しているような知識をより確実なものにするため、何度も解き直して今後の糧にしてください。

### 【1】 計算問題（多項式の展開・因数分解・連立方程式）

基礎的な計算問題です。(3)は因数分解を用いるとすっきり求められますが、その組み合わせも、1項目と4項目、2項目と3項目にするとよいでしょう。(4)は、根号が含まれた連立方程式です。あまり見慣れていない可能性もあるでしょうが、加減法による解き方をきちんと理解していれば、根号が含まれない場合と変わらず解くことができます。

### 【2】 小問集合（平方根・多項式の展開・箱ひげ図・平面図形）

(3)の箱ひげ図では、各四分位数が固定されているという条件下で、できる限り大きい値をとる場合を考えます。このような問題は、近年、全国の高校入試においてよく見かけるようになった単元です。しっかりと対策をする必要があると言えるでしょう。(4)は折り返しの角度に関する問題で、二等辺三角形が現れることが突破口になります。等しい角度に記号をつけるなどして情報を整理するとわかりやすくなります。

### 【3】 平面図形

平行四辺形を題材とした面積に関する問題です。等積変形を利用するというよりも、その根本的な知識としての「高さ（底辺）が共通している三角形は、面積の比と底辺（高さ）の比が等しくなる」ことを上手く使いこなすことが求められています。

### 【4】 関数と図形

1次関数と図形に関する問題です。四角形の面積を二等分する直線の引き方は様々な方法がありますが、本問では面積からの逆算をテーマとしています。また、計算量も他の大問と比べてやや多いため、解法を思いつくだけでなく、ていねいな計算力も必要となる問題だと言えるでしょう。

## 【5】 確率

さいころと動点に関する確率の問題です。問われていることを正しく理解し、もれなく数えあげる必要があることから、やや苦戦したかもしれません。特に、(2)(ii)では点Pが正方形の周上を何周したかの場合分けが必要であり、さらに途中で点Aに止まる場合を除く必要があります。この程度手間を要する難問も難関校では出題されますので、場合分けの見極めや根気よく書きだす練習としてとりあげました。

## 【6】 空間図形

三角柱を用いた立体の体積に関する問題です。体積を求めやすい立体に分割したりつけたしたりする際、垂直や平行といった辺と面の位置関係を正確にとらえることは非常に重要です。正解できなかった問題は、理解できるまで解説を読み、正しく立体をとらえられるようになりましょう。

## 2025 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【国語】

現代文、古文、文法とバランスを考慮して出題しています。文章の内容を論理的に読み取り、それを表現する記述力を試す問題となっています。論説文、随筆文ともに、入試で出題されるようなやや抽象的な文章をあえてとりあげて、このような文章を読んで理解できるように、そして主に文章の要旨の把握につながる箇所に問題を設定しているので、読解力を知る目安としてほしいです。現代文に加え、古文でも四十字の記述問題を出題し、学年の最初からしっかり書かせるテストに設定しています。

目標点は50～55点です。

### 【一】 漢字の読み書き

入試でもよく問われるものを中心に出题しました。特別に難しいものはあいませんが、(3)の「採」は「栽」と間違いやすいので注意しましょう。(4)「被」・(7)「遮」・(8)「拒」など訓読みで出題されている漢字は、音読みで使われる熟語も一緒に復習しておくのが望ましいです。漢字の問題は、読み書きができるようになるのはもちろんのこと、語彙を増やす機会と捉え、学習に役立ててほしいです。

### 【二】 論説文の読解……… 三宅香帆『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』

タイトルになっている問いについて、筆者の考えを述べた文章です。「文脈」という語をキーワードにして、「読書」・「働くこと」について考えているので、文章全体を正しく理解するには「文脈」が表す内容をつかむことが必要です。その上で、「文脈」が「読書」・「働くこと」とどのように関わっているのかをおさえることができるかがこの大問のねらいです。「働くこと」は、中学生にはまだ縁がないように感じるかもしれませんが、きちんと読めば他のことに置き換えられることがわかるはずなので、自分の身近なことに置き換えて考えてほしいです。**問六**の記述問題は、設問の傍線の前後で理由を述べていることをおさえたうえで、「自分から遠く離れた文脈」と、「読書」・「働くこと」の関係を整理することがポイントとなります。

**【三】** 随筆文の読解…………… 宇佐見りん『私の身体を生きる』より「トイレとハムレット」

創作における「想像」について述べた文章です。全体を通して内容が抽象的なので、理解できなかったという人は、**問四・問八**の解答をふまえたうえで読み直してみてください。「ホンモノの湯飲み」を作るという比喩が意味する内容をおさえて全体を読めたかどうか、理解を左右するポイントとなります。比喩が使われている部分は問われやすいので、比喩の表す内容をおさえながら読むことを習慣にしていましましょう。**問六**の記述問題は、「日常用の湯飲みを置く」という比喩が表す内容をつかんだうえで、解答は、「ホンモノの湯飲みを作る」などの比喩を使わずにまとめることに注意することが大事です。

**【四】** 古文の読解…………… 『沙石集』巻八ノ二

出典は、入試では頻出の鎌倉時代の説話集の一つ『沙石集』。まずは古文を読み慣れるよう、比較的平易で短めの文章を選びました。会話文の主語、古文単語の意味、指示内容の把握、文学史の知識など、これからの古文の学習の基礎となるような事項について出題しました。記述問題については、現代文の読解にも通じるような指示内容を問う問題です。本文を丁寧に読み、「馬を人に変えるには……」と「人を馬に変えるには……」という対比をきちんとおさえましょう。

**【五】** 文法

高校受験に必須の文法の知識について、主に助動詞と助詞の識別に関して出題しました。間違えた箇所については、十分な復習が必要です。しっかり見直しましょう。

## 2025 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【理科】

物理・化学・生物・地学の4分野からそれぞれ、中学2年生で学習する範囲の問題を中心に出题しました。解いているうえで、なじみのないものが題材の問題もあったかもしれません。なじみのない題材だと、初めて見る問題のように思えてしまうこともあるかもしれませんが、基礎～標準レベルの問題も多く出題されています。解けそうな問題はどれかを見極め、確実に正解する練習にもなればと思います。

### 【1】 電流とその利用①（電気回路）

電気回路について出題しました。電流の向き、抵抗に流れる電流の大きさ、抵抗で消費される電力の比についての問題で構成されています。直列回路と並列回路のそれぞれにおいて、電流や電圧がどのようになるかといった正確な知識と、電流、電圧、電力などを正確に計算する力が必要です。

### 【2】 天気とその変化①（日本の気象）

ある日の東京で観測された天気図を選ぶ問題です。木枯らし1号や春一番といった言葉を聞いたことはあるものの、それがどのような現象かまではよく知らないという受験生も多かったのではないのでしょうか。いずれも風について表す言葉であるため、風向きなどの条件を手がかりにし、気圧配置を推測してほしいです。また、雪といえば西高東低の気圧配置が思い浮かぶかもしれませんが、これは日本海側に雪や雨をもたらす気圧配置であり、東京などの太平洋側は晴天になることも再確認してほしいです。

### 【3】 電流とその利用②（電気回路、スイッチ）

3路スイッチや4路スイッチを用いた回路についての問題です。スイッチの状態が、電源装置の+極から-極までつながるようになっているときに電流が流れます。計算問題については、複雑だと感じる受験生も多かったのではないのでしょうか。スイッチを抵抗に見立てた回路図になおしたり、わかっている数値を図に書き込んだりすると、状況が整理しやすくなります。また、複雑な計算問題を解くときは、何を求めているのかを意識しながら解いてほしいです。

### 【4】 化学変化と原子・分子①（化学変化、炭酸水素ナトリウム）

熱分解に関する問題では、物質の性質、実験操作や器具についての知識や理解を試しました。＜実験1＞の結果から、反応する物質の質量と生成する物質の質量に比例関係があることがわかります。これ

は、様々な化学反応の基本の考え方です。また、塩酸との反応に関する問題では、化学反応式や質量の計算などの知識や理解を試しました。複数の化学反応式を1つにまとめることができ、〈実験3〉と〈実験4〉が同じ化学反応式になることに気づけるかがポイントです。この問題を通して、身近な物質に関心を持ち、科学的な判断力の向上を目指してほしいです。

#### 【5】 生物のからだのつくりとはたらき（細胞，植物）

実験材料としてよく用いられるオオカナダモを題材にし、顕微鏡、細胞はたらき、植物の分類、光合成や呼吸について問いました。(6)の対照実験についての問題は、なぜそのような結果になるのかということや、試薬で何を調べているのかが理解できていないと、難しく感じるかもしれません。この問題を通して、一つの生物から多くのことが学べる意義や、学習内容がどのように結びついているかを体系的に感じ取ってほしいです。

#### 【6】 電流とその利用③（磁界，電磁誘導）

鉄道を題材に、磁界や電磁誘導に関する問題を出題しました。文章や問題文では、鉄道を中心に述べていますが、私たちのまわりには、ほかにもモーターや電磁誘導が使われているものがたくさんあります。身のまわりの製品について、どのような現象が用いられているのかを考察したり、調べたりするきっかけになればと思います。

#### 【7】 化学変化と原子・分子②（化学変化，電気分解）

水と塩酸の電気分解についての知識と理解を試しました。水素は、持続可能なエネルギー源として注目されており、その生成方法の一つが水の電気分解です。水の電気分解では、水素は陰極に、酸素は陽極に2:1で発生します。水素が陰極に発生することと、塩酸を電気分解すると水素と塩素が発生することから、〈実験2〉では、塩素が陽極に発生すると判断できます。この問題を通して、様々な物質の性質と、化学反応に関する理解と科学的な思考力の向上を目指してほしいです。

#### 【8】 天気とその変化②（気象観測，大気と雲）

ここ毎年、夏には猛暑日などの気温が高い日が続いています。この問題では、熱中症の危険度を評価する「暑さ指数」を題材にしました。WBGTの算出式から、熱中症のリスクが高まったり、暑い日に不快感を覚えたりするのは、湿度の高さが関係することを読み取ってほしいです。また、湿度について、気温や飽和水蒸気量との関係についても出題しました。問題全体としては、文章とデータをていねいに読み取っていけば、計算問題も含めて難しくはないはずです。



## 2025 第1回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【社会】

地理分野は、すでに学校でひと通りの学習が終わっていることをふまえて、入試でも頻出の出題形式である図表を多く用いながら、基本的な知識だけでなく図表の読み取りや思考力などを問うものなど幅広く出題することを意識しました。

歴史分野は、原始から室町時代までの政治・経済・文化について、重要事項の知識が定着しているか、さらに様々な史料を基にその知識を活用できているかを意識して出題しました。

公民分野は、人権思想の発展、日本国憲法の三大原則について、全受験生にとって必須である基礎的な事柄を中心としつつ、難関国私立高校に特有の出題内容を交えて出題しました。

### 【1】 原始～室町時代の歴史Ⅰ

(1)の古代中国に関しては主要な王朝や時代の名称とともに、それぞれの時期のキーワードを押さえるようにしましょう。(3)の古代の朝鮮半島については、高句麗・新羅・百済の位置関係および設問中の選択肢で示された内容についてはきちんと把握することが大切です。(4)の1の古代の都については、以前と比べて図版を使用した問題が多用されることが増えているので、少なくとも教科書に掲載されている図版には注意するようにしましょう。(4)の2の飛鳥文化については、作品や中心人物などで時期が近い白鳳文化との違いに注意した上で整理しておきましょう。(7)について、中臣鎌足以降の藤原氏の主要な人物の事績は押さえておくべき内容です。

### 【2】 原始～室町時代の歴史Ⅱ

(1)の平清盛の事績に関する設問では、各事項の内容を正確に押さえるようにしましょう。(2)の3の元寇に関する空欄補充問題では近年は単に用語だけでなく、短文を補う形式のものも出題されるので、より注意して内容を検討しておくといでしょう。(6)の室町時代の社会経済活動については、類似している鎌倉時代の状況との区別ができるようにしておくことが重要です。

### 【3】 東アジア・東南アジア・南アジア

(7)・(11)・(12)・(13)は基本レベル、他は標準レベルです。(1)と(2)は地域ごとの気候の特徴やその影響を受ける農業に関して理解できているかを問うものです。(3)は表に印をつけるなどしながら粘り強く考えられるかがカギとなります。(4)・(5)・(6)・(8)は単なる語句の暗記のみなど学習が浅いと失点する内容となっています。(9)は日本と韓国の違いが判別できるか、(10)は特徴のある輸出品目がわかるかがポイントです。

### 【4】 日本の農林水産業

(3)・(4)・(6)は基本レベル、(1)・(2)のア、(5)は標準レベルで、(2)のオはやや難レベルです。(1)はそれぞれの県で生産量が上位の農産物がイメージできれば正解できます。(2)はイとエが特に易しいので、アとオの判別ができなくても消去法で選択肢が絞れます。(5)はA以外の3県が判別しやすいので、(2)の問題と同様に消去法で正解を導くこともできます。

### 【5】 人権思想の発展、日本国憲法の三大原則

(1)のように、史料文を見てそれが何の史料なのかを判断できることは、難関校の入試では求められます。(3)は夫婦別姓が現在の日本では認められていないことを根拠にして正答を選ぶことを求めた設問です。難関校では一般常識を根拠にして考えることを求めた出題が見られます。(5)の2の自衛隊の最高指揮権や集団的自衛権についてなど安全保障関連の事柄は、難関校では出題されることがあります。選択肢エは普天間飛行場の辺野古沖への移設問題について、簡単でよいので知っているかを試しているものですが、難関校を志望する受験生は時事問題が出題される学校も多いことを知っておきましょう。(6)は日本国憲法の条文の空欄補充問題ですが、難関校では本当にさまざまな箇所が空欄として問われます。対策は不可能と言えるほどで、憲法の条文には常日頃から親しんでおく必要があります。